

再度、「CWのすすめ」

JJ1SXA 池

第60号(2003年12月)に、「今更ながらCWの薦め」と言う記事を掲載させていただきましたが、再度、「CWのすすめ」です、1982年～1985年頃の、240のモービルアンテナは5/8λが当たり前、余程付けられない理由がある局以外は、競って5/8λを装着していましたが、最近、モービル通勤者も少なくなり、また、比較的近距離での交信が多くなったせいか、5/8λの良さを実体験する事無く、話だけで素晴らしいと思っているだけの局が大部分になったようです。

今は昔、何かのミーティングがあつて集まると、駐車場には5/8λが林立し、壮観だったのを思い出しますし、また、その頃はCW熱も高く、3アマ(当時は、電信級アマ)や、2アマ、1アマに挑戦する局も多く、沢山の局が、CW運用のできる上級ライセンスを取得しました、ただ、普段CW運用をやる局が少ないのが一寸残念ですが・・・

現在、240メンバーの局の大部分は、3アマ以上のライセンス所持者です、試験も簡単になったことですから、4アマ局も、面倒がらずに3アマ以上のライセンスをとって、50W運用と、CW運用をやりましょう。(手軽に、講習会受講も一手です)

モービルのアンテナは5/8λ、メリッ悪しの時はCWにモードを変えてQSO、当たり前だった、初期の頃の240の姿が再来することを期待しています。

CWの勉強は、最初に、とりあえずは、モールス符号アルファベット26文字を覚える、根気良く短時間で良いから、ひたすら毎日聞くです、次に、Q符号、CW略語を覚え、ラバースタンプQSOのパターンを頭に入れて、実際のQSOをワッチすれば、受信能力は確実にステップアップすることでしょう。

ある程度受信ができるようになったら、いよいよCWデビュー、前にも書きましたが、送信は、エレキーを始めましょう、縦振れキーは、反動式で打つが、うまい局から、ちゃんとした指導を受けて始めないと、自己流の癖がつき、変な符号しか打てなくなり、解読困難なCWのバラマキ・・・

エレキーは、右手で字を書きながら、同時に左手でキー操作ができる人は左打ちで(左利きの人はこの逆)、両方の手が同時に別動作のできない人は、右打ちでも左打ちでもどちらでも良いと思います、ちなみに、私は右打ち、左打ちの両方できますが、左打ちの時、右手にペンを持って、左でキー操作を始めると、右手が止まり、ペンを動かしていると左手が止まりで、別動作を同時にはできません、左打ちはもっぱら、モービル運転中の時に使うだけです。

受信も、送信もできるようになったら、CQを出している局を呼んでQSOをしましょう、ファーストQSOは、マイクで第一声を発した時の緊張感が蘇ることでしょう、あるいはそれ以上に、額に汗、手にも汗、心臓ドキドキパクンかも知れませんが、ここは度胸、為せばなるです、いざCWの世界へ！！